

# 道徳教育の全体計画

和歌山県立有田中央高等学校

**関係法令等**

- ・日本国憲法 ・教育基本法
- ・学校教育法 ・学習指導要領
- ・県教育振興基本計画

**学習指導要領**

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他の社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心を持ち、伝統と文化の創造を図るとともに、公共の精神を尊び、民主的な社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し、未来を拓く主体性のある日本人を育成するため、その基盤としての道徳性を養うことを目標とする。

**各分掌**

**教務部**  
 ・基本的な学習姿勢の育成と、基礎学力向上への取組の充実。  
 ・読書意欲を喚起し、豊かな心・主体的な学び・正しい判断力を育て、そのための整備にも努める。

**進路キャリア部**  
 ・自身の課題について知るとともに、課題解決に向け主体的に行動できる力を養う。  
 ・様々な人との関わりを通じて、自己有用感を高めるとともに、他者理解を深化させ自己肯定感へと繋げる。

**生徒指導部**  
 ・基本的生活習慣の身に付いた自律的行動、規範意識を育てる。  
 ・自他の生命の安全と人格を尊重する心を育成する。

**生徒支援部**  
 ・生徒会、部活動、委員会活動など自主活動を通して心身ともに豊かな人格を育成する。  
 ・生徒の健康増進を図る。

**総務企画部**  
 ・PTAや地域との連携を図り、地域に貢献できる生徒を育成する。

**学校教育目標**

- ・生徒一人一人の個性を伸ばし、自ら学ぶ能力や、未来を切り拓く創造力の育成をはかる。
- ・国際社会に生きる人間として基本的人権を守り、自らを律し、社会から信頼され、社会に貢献できる人材の育成をはかる。
- ・自然体験や社会体験を通じて、「ものを育てる心・思いやりの心」「望ましい自然環境・社会環境作りができる力」の育成をはかる。

**目指す生徒像**

- ・人々に信頼され、地域で活躍できる人材(地域社会の中核を担う若者を育てる)

**道徳教育の重点目標**

- 自己有用感の育成(生徒の心に火をつける)
- 生活習慣および基本的学習姿勢の確立と自主・自律の精神のもとに規律と責任を優先できる人間の育成
- 集団への帰属意識・連帯感、奉仕の精神をもって積極的に地域社会に参画していく人間の育成

**学年ごとの重点目標**

**1年** お互いに高め合い規律のある集団を構築し、健全な規律意識と自己肯定感をもった、心身ともに自律した生徒の育成を図る。

**2年** 自己を大切に、他者を思いやる心を持った生徒の育成を図る。定期的なアゼンブリーを実施し、集団生活に於ける規律ある行動について学ばせ、責任ある行動のとれる人間形成を目指す。

**3年** 今まで学習したことや家庭・地域で養った社会規範を基礎とし、積極的に地域社会に参画することにより関わり方や、いかに貢献できるかを考え、行動できる生徒の育成を

**生徒の実態**

- ・基本的生活習慣の確立ができていない生徒、不登校等課題を抱えた生徒もいる。
- ・基礎学力の定着と個々に応じた指導が必要な生徒が多い。
- ・明るく素朴な人なつこい生徒が比較的多い。

**学校や地域の実態**

- ・自転車通学生のマナー、大型店舗等での言動等、生徒のモラル・マナーに関する苦情が寄せられる。
- ・生活基盤に課題を抱えている家庭もある。
- ・地域住民は地域の学校として注目しており協力的である。

**保護者の願い**

- ・目標をもち明るく積極的に学校生活を送る。
- ・生活習慣を確立しモラル・マナーを身につける。
- ・確かな基礎学力を身につける

**各教科**

**国語**：基礎的な知識の習得を図るとともに、読解力や表現力を伸ばし、自己を見つめ、他者とのつながりを考える態度を育てる。

**地歴公民**：国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家、社会の一員として必要な能力と資質を養う。

**数学**：筋道立てて考察する力を習得させ、正しい判断力の育成を図る。

**理科**：自然に対する理解を深め、科学的なものの見方や探求方法を習得させる。

**保健体育**：身体活動を通して心身の健全な発達をはかるとともに集団活動の中で他者との関わりを学び社会に適応できる育成を目指す。

**芸術**：芸術の幅広い活動を通して、見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを旨とする。

**外国語**：外国語を通じて言語や文化に対する理解を深め積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。

**家庭**：家族・家庭の意義や社会との関わりについて理解させるとともに男女が協力し主体的に家庭、地域の生活を創造する能力、態度を育てる。

**情報**：情報の収集・発信やネットワーク利用の心構えを学び、情報社会に必要な情報リテラシーやモラルを養う。

**農業**：作物を育てることを通じて生命の大切さ、食の大切さを学び自然や人間を大切にすることを豊かな心で養う。

**商業**：ビジネスの諸活動を主体的・合理的かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

**福祉**：授業や実習を通して、個人の尊厳を尊重する態度や、コミュニケーション能力を育成する。

**自立活動**：他者・自己理解を深め、主体的に自己の力を可能な限り発揮し、よりよく生きていこうとする態度を育てる。

**生徒指導などにおける関連**

- ・自主的、自律的な態度を育成するために基本的生活習慣を身につけさせ自己管理能力を育成するとともに自己責任に関する考え方を深めさせる
- ・他者とのつながりを大切に、相互理解を深め、個人の尊厳や基本的人権を尊重する精神、態度を育成する。

**家庭・地域との連携**

- ・各種案内で保護者に道徳教育の目標や内容について伝え、授業参観や、生き方在り方等地域の方(ゲスト)へのバリエーション学習を通じて、家庭・地域の理解と協力を図る。
- ・地域コミュニティとの連携を密にし、様々な取組への協力を促す。

**特別活動**

**ホームルーム活動**：人間・自然に深い愛情を持ち、共に生きるためのコミュニケーション能力や環境意識を身につける。また、道徳LHRが年間を通じて効果的に実施できるよう位置づける。

**生徒会活動**：生徒会が中心となって、規律ある生活態度と自己責任能力が身についた人間をめざす。また、地域の活性化をはかる諸活動に参加する取組をすすめる。

**学校行事**：豊かな感性と創造力を持って、たくましく生きる力を身につける。また、地域企業でのインターンシップを積極的に取り入れ、望ましい勤労観・職業観の育成を図る。

**部活動**

- ・集団活動を通して、規律ある生活態度や集団における自己の役割や責任を自覚し、互いに協力することのできる能力の育成をめざす。

**総合的な探究の時間**

1年次「カルチャー園芸」 ・一人ひとりが責任を持って作物を育て、収穫することにより、工夫し努力し作物を育てる成功感、達成感を得るとともに、食の安全性について理解を深める。

2年次「セルフディスカバリー」 ・様々な人との関わりを通じて、自己理解を深め、他者と相互理解、尊重し合い、ともに生きていく姿勢を身につける。

3年次「リンクアップゼミ」 ・自身の課題について知るとともに、課題解決にむけ主体的に行動できる力を養う。

**学校の環境の充実**

- ・お互いの存在を認め合う人間関係を築く。
- ・節度をもった品位ある言語づかいなどについて留意し、言語に関わる環境を整える。
- ・清掃活動や栽培活動などを通して、豊かな心を育む環境を整える。

**異校種との連携**

- ・小・中学校、特別支援学校など異年齢や異校種との行事や読みきかせ、実験指導などにおける交流を通じ、自己を見つめ直し、思いやりや社会性、協働性などの豊かな人間性の育成を図る。
- ・中学校における道徳教育との接続について、カリキュラム等のあり方をさぐる。